

さん ほん まつ さ ぼう えん てい
三本松砂防堰堤



Ver.1 (2024年8月)

CIGrCo

SABO-DATA

所在地: 奈良県宇陀市室生三本松

河川名: 木津川水系宇陀川

形式: 不透過型砂防堰堤(重力式)

規模: 堤高11.0m / 堤長57.5m

施工者: 国土交通省

着工/完成: 令和3年(2021)

令和6年(2024)



地藏菩薩立像 (安産寺)

基本情報

三本松砂防堰堤は、土石流被害から国道165号や近鉄大阪線などの社会基盤及び人家など国民の生命を守るために整備されました。

副堤には流木止めが設置されており、土石流発生時に流れてくる流木を副堤で捕捉し、下流への流出を防止します。

こだわりの情報

三本松砂防堰堤周辺には、地元の三本松中村自治会が管理する安産寺があります。ここに祀られる地藏菩薩立像(国の重要文化財)は、言い伝えによれば、その昔、豪雨で宇陀川が増水した際に上流より流されてきたもので、その美しく優しい姿に見惚れた村人たちが、お堂を構えて安置したと伝わっています。また子安地藏とも呼ばれ、安産・子授の信仰を集め、多くの女性が参拝しています。

また、国道165号沿いにある「道の駅」宇陀路室生(宇陀市室生三本松)は、奈良県と三重県の県境に位置する道の駅で、人と物の交流の場となっています。